

講習会コード: t d s 2 0 2 6 1 1 1 2 r1

未然防止の考え方、FTAと比較しながらの FMEA の意味と役割を説明し、その上で、上手いく FMEA の進め方・注意点・コツを解説し、最後に DR での活用方法を紹介しします（FMEA シートの記入方法等の解説が中心ではありませんので、ご注意ください）。

未然防止の根幹！製品開発における設計 FMEA の基本と実践入門

講 師: CS-HK 代表 上條仁 氏

品質技法コンサルタント。FMEA・DRBFM、FTA、QFD（品質機能展開）などを活用した未然防止や品質向上、発明的問題解決手法(TRIZ)、ISO9001、IATF16949を専門とする。1983年(株)日立製作所入社。半導体設計開発に従事した後、半導体グループ品質信頼性保証本部にてISO/TS16949(現IATF16949)を認証担当 兼 全社品質改善活動担当として品質機能展開等の日立全社での普及・展開活動を推進する。2002年(株)日立製作所退社し、C S - H K設立。大手企業を中心に品質技法コンサルタントして活動中。著書には『本気で取り組むFMEA』（日刊工業新聞社）がある。

●日程	2026年11月12日(木) 10:30 ~ 17:00
●受講料 (申込プラン)	①オンライン受講: ②36,300円 (税込) ※9/11(金)までにお申込の場合、25,410円(3割引)となります

<こんな方にオススメです>

- ✓ 未然防止活動や FMEA を始めようとしている方
- ✓ 認証や顧客対応のために FMEA を行っているが、未然防止にも活用したいと考えている方
- ✓ FMEA が上手くいっていない・役立っていないため、その理由や適切なやり方を知りたい方

＜学べること＞

- ★未然防止と FMEA の考え方
 ★FMEA の基本的な進め方や実施のコツ
 ★上手い FMEA と上手くない FMEA の違い

＜プログラム＞

I. FMEA の考え方、未然防止活動とは

1. 本来の未然防止とは
2. 未然防止の区分け
 - a. 問題解決と再発防止
 - b. 故障予測
3. FMEA が上手くない理由と事例
 - a. 何のための FMEA
 - b. 何故やるのか
 - c. 目的がはっきりしていない
 - d. 活用できていない

II. FMEA の基本的な進め方

1. FMEA の前後
2. 有効な道具とその使い分け
 - a. 品質表
 - b. 信頼性ブロック図
 - c. 機能図など
3. 効率的な未然防止活動の実施時期とは
4. 的を射る（重点化実施する）ためには
 - a. 狭く深くやる方法
 - b. 品質表の活用方法
5. きっかけ（インプット）の明確化のために
6. 設計 FMEA の作成
 - a. 設計 FMEA と工程 FMEA
 - b. FMEA の作成手順
 - c. 効率良い FMEA の作成とインタビュー FMEA の導入

Ⅲ. FTAとの違い

1. FMEAとFTA 2. FTAの活用によるFMEAの効率アップ

IV. DR（デザインレビュー）での有効活用

1. DR の本来の姿とは
2. DR に対する誤解（
3. DR 分類と明確化について
4. DR の効率化による未然防止の有効化

V. 事例紹介

- ## 1. FMEA の重点化事例 2. おかしな FMEA 事例

＜講義概容＞

事故や不良が起きるたびに「FMEA の徹底」や「未然防止活動の実施」といったことが言われます。しかし、FMEAを、本来の意味や目的を意識しないまま、単に「顧客対応のため」「DR で必須となっているから」といった理由で実施しても、効果はそれほど期待できません。不良や事故を未然防止するためには、FMEA の本来の使い方を理解したうえで、効率よく実施することが重要です。

本講座では、FMEA の本来の意味・目的、基本的な使い方といった基礎的なことから、効果的な実施法、DR での活用法、事例紹介（研究）など応用的なことまで、要点をまとめ分かりやすく解説します。FMEA を始めたばかりの方や、導入を検討している方は、基本事項を学び自社での取り組みに活用してください。また、すでに実施している方は、自社のやり方と比較しながら、効率的な実施方法やコツの発見に役立ててください。

<お申込要項>

下記に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください（※は必須です）

FAX
03-6261-7924

申込講座	2026/11/12	未然防止の根幹！製品開発における設計 FMEA の基本と実践入門	申込プラン (複数ある場合)
会社名※			
所在地※ (請求書等の送付先)	〒		
参加者①	氏名※		TEL※
	所属※		FAX
			役職
	Email※		@
会員登録	☐ 登録する ☐ 登録しない (登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します)		
参加者②	氏名※		TEL※
	所属※		FAX
			役職
	Email※		@
会員登録	☐ 登録する ☐ 登録しない (登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します)		
支払方法※	☐ 銀行振込（紙請求書） ☐ 銀行振込（PDF 請求書） ☐ カード支払い ☐ 未定のため後日連絡する		
支払予定日※	☐ [] 月 [] 日ごろを予定している ☐ 未定のため後日連絡する		
備考※			

※【個人情報の取扱いについて】 ご記入された個人情報については、当社規定の「個人情報の取扱い」に基づき、適切に管理・運用いたします（詳細 https://www.tech-d.jp/privacy/apply_privacy.pdf）。

お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

A	FAX	上記に必要事項をご記入の上、送信ください
B	E-mail	送信先： entry@tech-d.jp メール本文に<①【申込講座】 ②【会社名】 ③【所在地】 ④【氏名】 ⑤【所属】 ⑥【Email】 ⑦【TEL】 ⑧【支払方法】、⑨【支払予定日】>をご記入の上、ご送信ください
C	Web	https://tech-d.jp/ の各講座のページからお申込みください

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メールまたはお電話）をいたします

③ 請求書等をお送りいたします

<注意>

① お申込後 1 週間たっても受付完了の連絡がなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください

② 開催日の 7 日前以内のキャンセルはお受け致しかねます。必要に応じ代理の方のご出席をお願いいたします

お支払について

<期日>

受講料は講習会開催日の翌月末日までにお支払いください

※期日までに間に合わない場合は、対応いたしますのでご一報ください

<方法>

① 銀行振込（振込手数料は御社にてご負担願います）

② クレジットカード（支払方法はメールでご案内します）

【お振込先】

振込先銀行	三井住友銀行
支店	多摩センター支店（909）
口座番号	（普） 0 9 7 3 5 2 2
名義	株式会社テックデザイン

主 催 申込・問合せ先	名 称	株式会社テックデザイン（ http://www.tech-d.jp/ ）		
	住 所	〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-12-15 九段大和ビル 3 階		
	電 話	03-6261-7920	FAX	03-6261-7924
	E-mail	entry@tech-d.jp（申込） / info@tech-d.jp（問合せ）		